



きくがわ 社協だより

No.92
2012年
10月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

特集

「パワーいっぱい!未来を担う子どもたちのボランティア活動」



高校生ボランティアグループプーさん
児童館夏祭りでの「ボウリングコーナー」



小笠児童館小学生ボランティアサークル
高齢者施設でお話し

菊川市では、教育委員会社会教育課所管のボランティアクラブを通し、たくさんの児童生徒がボランティア体験活動に参加しています。今年度前期の活動では約550名の児童生徒が、45の受け入れ先で様々なボランティア体験活動に参加しています。

また、児童館には小・中学生ボランティアクラブが、社協ボランティアセンターには高校生ボランティアグループが登録し、毎月活動を行っています。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865 (プラザげやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202
Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

「紹介します！ 僕・私たちのボランティア体験活動」

今、子ども達は市内でどんなボランティア体験活動に参加し、どんなことを感じ考えているのか？活動体験を頑張っている「きらり」輝く子ども達に、また子どもたちを受け入れている受け入れ先の担当者の方にインタビューをしました。

〇ポイント

どんなボランティア活動をしていますか？

加藤 「ようこそ」で、けん盤ハーモニカやりコーダーを吹いています。

鈴木 お茶出しのお手伝いや、体操やゲームを一緒にやってくれたり、気候がよいとお散歩にも行くよね。今年の6月から、何回も来てくれています。

ようこそ知り合いになった、おじいちゃんやおばあちゃんはいませんか？

加藤 はい、います。会つのが楽しみです。お話をたくさんします。

ゆかりさんの活動のようすを教えてください。

鈴木 定期的に何回も来てくれています。最初はすごく緊張していたと思います。お友だちと来る子もいますが、ゆかりさんは一人でも来てくれます。ここでは、まずはお年寄りとのふれあいが一番大事だと思っていますので、お年寄りとの交流をしてもらうのですが、最初はなかなか上手く話せなかったんじゃない？

加藤 恥ずかしくて話せなかった。

鈴木 何を話していいのかわからなかったりすることもあると思うのですが、何回も来てくれることによつて、接し方が上手になつてきたなと思います。今年の夏休みには、自分でリコーダーを持って来て演奏してくれたり、工夫してボランティア活動をしてきています。継続的に来てくれているという事は、楽しんでくれているのかなあと思つて、とても嬉しく思っています。

子どもがボランティアに来てくれることの効果や意味は何だと思えますか？



鈴木佐枝子さん 加藤ゆかりさん(小4)

鈴木 小・中学生のボランティアというのは、手伝うというよりも、デイサービスでいえば異世代交流とか体験学習の意味合いが大きいと思うんです。なので、お年寄りとの交流をおしていろいろな体験ができるというなと思います。「ボランティアって楽しいんだ。」と思ってもらえることが嬉しいことです。ゆかりさんは将来どんな仕事に就こうかになって、また全然考えてないと思うのですが、こういういろいろなことを体験して、将来の選択肢が広がってくれば一番いいことだし、ボランティアに参加することでさまざまな体験が得られるということの意味があるのかなと思つています。

これから、ようこそでボランティアをしたいと思えますか？

加藤 はい、思います。おじいちゃんやおばあちゃんとお話するのが楽しいし、これからもいろいろ話をしたいです。

鈴木さんからゆかりさんへ、今後のメッセージをお願いします。

鈴木 細く長くがんばり過ぎない程度に、楽しみながらボランティアを続けてくれたらいいなと思います。ようこそに限らず、いろいろなところで、いろいろなボランティアを体験してほしいです。人はさまざまなので、その人に合わせたお話を接し方ができれば、人思いやる気持ちも出てくるので、思いやりの心ももっともっと大きくなってくれたら嬉しいなと思います。これからも楽しく続けていくことで、もっともっとボランティアが好きになってくれると嬉しいです。

〇みなみやま会館

どんなボランティア活動をしていますか？

岡田 中学1年生の時から、みなみやま会館のイベントのお手伝いと、南幼稚園でボランティアをしています。南幼稚園では、夏祭りの模擬店で販売の手伝いをしています。

みなみやま会館のイベントのお手伝いでは、どんなことをしますか？

平野 着ぐるみを着ています。

山田 盛り上げ係をやっています。(笑)

赤堀 イベントは、みなみやま会館まつり、こいのぼりコンサート、防災と雪まつりだね。

イベントのお手伝いはどうですか？

岡田 けっこう楽しいです。

平野 毎回楽しみに来ています。

山田 着ぐるみは暑いです。

赤堀 着ぐるみは大変だよね。重たいしね。どつつかれたり蹴飛ばされたりするしね。3人でローテーションを組んでがんばつてくれるね。

3人の活動を見ていてどうですか？

赤堀 すごく嬉しいのは、こちらから募集をけなくとも必ずイベントの前に「やらせてください。」って来てくれることです。一番大変なところを嫌がらずにやってくれます。準備から片づけまで一生懸命にやってくれて、一番感心するのは、みんながやりたがらない「ゴミの分別や「ミ」出しまで、最後まで責任を持ってやってくれていることです。本当にありがたく思っています。着ぐるみは体型に制限もあるので、最初の時から中学生に頼んでいます。この子たちが3代目になります。

子どもがボランティアに来てくれることの効果や意味は何だと思えますか？

赤堀 地域のイベントなので、子どもから大人まで、地域の人にたくさん来ていただきたいです。そこで小・中学生がボランティアをしてけると、もうそれだけで人が集まってくる感じ。「小・中学生のボランティアはイベントの華だね。」ってよく話します。やってくれている姿に引かれて、みんなが来てくれるようなところがあるので、すごく盛り上がります。来てくれる人が、「あそこの家の子だね。」とこの家のお兄ちゃんだね。」って言うってくれるので、みんなが知り合いになれるというのがあります。高校生になってもやってもらいたい。

岡田 来るつもりです。ここは一番近くて一番いい。

(平野、山田 うなづく)

今後のボランティア活動について思うことはありますか？

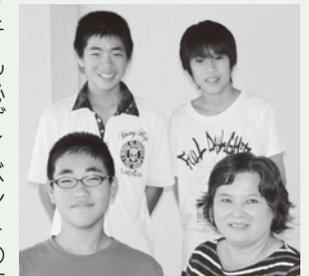
全員 これからもみなみやま会館のボランティアをメインにやっていきたいと思っています。

岡田 イベントの時に、会館の周りに飾りつけをした

平野・山田 いいねえ。

3人にメッセージをお願いします。

赤堀 いつも本当に感謝しています。君たちの楽しそうにボランティアをしている姿を見て、じゃあ私も僕もと言ってくれる後輩が出てくれると嬉しいなあと思つているので、楽しくやりましょ。次に着ぐるみ



山田哲平さん(中2) 平野拓未さん(中2)
岡田悠斗さん(中2) 赤堀眞理さん

を着る後輩を育ててね。ボランティアの輪を広げよう。全員 はい。

○清松園

ひかりさんはどんなボランティア活動をしていますか？また清松園ではどんな活動をしましたか？

松下 はじめは4年生の時に、和松会のデイサービスセンターに行きました。5年生から清松園に行きました。最近では清松園と東遠学園に行きました。

清松園ではガーゼたたみや食事の介助をしました。食事介助では利用者さんと直接かかわるし、「ありがとう」と言ってもらえたことがうれしくて、自信になりました。最初は緊張したが、もう大丈夫です。

食事介助を通してお互いに知り合える。コミュニケーションになる。

和田 続けて来ると利用者が覚えていてくれる。「あつ去年来たよね。」そこから話が広がる。利用者も来てくれるとうれしいし、張りになる。それがボランティアを続けていける原動力になっている。

ひかりさんの活動の様子を教えてください。

大塚・和田 ガーゼたたみから食事介助に活動が広がった。食事介助から話も広がった。続けてきてくれているから出来ることだと思ふ。時間が空いた時には事務仕事なども進んで手伝ってくれた。絵を書くのが好きと聞いたので壁面も書いてもらった。利用者がとても楽しみにしていて、いつもは職員がやっているがマンネリ化してしまう。好きなことを活かしてもらった。最初は緊張していたが、成長を感じる。

ひかりさんがボランティアを始めたきっかけは何でしたか？

松下 お母さんが福祉の仕事をしていたから、お母さんについて小さい頃から、草笛夏の祭典に遊びに行っていました。

子どもがボランティアに来てくれることの効果や意味は何だと思えますか？

大塚・和田 職員だと近すぎて言いにくいこともあるし、忙しそうだと遠慮してしまうこともある。ボランティアさんと話すことで利用者のストレス解消になったり、リフレッシュにもなる。「子どもが頑張っているんだ！」と職員にとっても

刺激になる。少しでも福祉に関心があるから来てくれる。その思いをつなげていく努力をしていかないといけないと思っている。「施設はこんなところだから、自分にどんなことが出来るんだろう。」考えていける活動につなげていければと思っている。



和田由香さん
大塚さおりさん 松下ひかりさん(中1)

刺激になる。

少しでも福祉に関心があるから来てくれる。その思いをつなげていく努力をしていかないといけないと思っている。「施設はこんなところだから、自分にどんなことが出来るんだろう。」考えていける活動につなげていければと思っている。

施設としても来てくれることがうれしい。そうすると、伝えたいことも大きくなる。いつかは仲間になるかもしれない。まわりに「ボランティアに行ってきたよ。」と話すことでひろがる。

今後のボランティア活動でしたいこと、考えることはありますか？

松下 もっといろんな仕事をしてみたい。利用者さんのためになるようなこと。好きなことも活かしていけるとうい。

和田 利用者と職員とひかりさんと壁面を作るなんてのもいいね。

大塚さん、和田さんからひかりさんへのメッセージをお願いします。

大塚・和田 大切なのは学校の勉強や部活だけでなく、ひかりさんの活動する一つの場所としてつながりを持ち続け、施設にいろいろな風を吹き込んでほしい。特別な活動でなくても、「ボランティアに行くぞ！」と言う感じでなくても、遊びに来てくれて利用者と一緒にお茶を飲むだけでも、顔を見せてくれるだけでも利用者はうれしいです。

○子育てサポートほん

どんなボランティア活動をしていますか？また子育てサポートほんでの活動ではどんなことをしましたか？

宮城 5年生から菊川児童館のボランティアクラブ「スマイル」に入り、園芸が好きだから園芸の関係や老人ホームのお手伝いにも興味があつて活動しています。

子育てサポートほんでは、小さい子と遊んで、お世話をしました。小さい子が自分の遊んだおもちゃを「はい、どうぞ」って渡してくれて、面白かったしうれしかった。

稲垣 赤ちゃんを抱っこしていても安心して見ていられました。お姉さんの様に遊んでくれたから、まわりに「お姉ちゃん」と子供たちが集まっています。

子どもがボランティアに来てくれることの効果や意味は何だと思えますか？

稲垣 今回初めて学生ボランティアを受け入れまし

た。「モンセンスペアレントینگ講座の託児で、夏休み期間中5回受け入れました。講座への参加も多く、託児の希望も多かったので、自分たちだけでは手一杯になっていたところ、ボランティアの子どもが入ってくれ、実助かりました。託児の子どもも「お姉ちゃんが来てくれた。」という感じで、年齢が私たちより託児の子どもに近く、親近感を感じたようです。これを機に夏休みにまた子どもたちのボランティアを受け入れたくて、講座や託児も広げてやっていけるかと思えます。

今後のボランティア活動でしたいこと、考えることはありますか？

宮城 小さい子が好きだからまた小さい子と触れ合ったりして遊びたい。前に喜久の園と一緒に塗り絵をしたり、飲み物を出したりしてふれあつた。歳の差があるけれど、塗り絵が好きなのも居て、楽しかった。

稲垣さんから咲希さんへメッセージをお願いします。

稲垣 学校では学べないことを実際の体験の中で、心も豊かになり、なかなかあれもこれもは大変だが、細く長く、大人になっても続けて行ってくれたいいなと思う。人のためにやっていることが自分のためになつてくる。頑張つて続けてほしい。

今回は4ヶ所の受け入れ先で活動する子ども達を紹介しましたが、「この中学校、小学校だけ！」ではなく、菊川市内の全ての小・中学校に、頑張っている「きらり」輝く子ども達がたくさんいます。

今回のインタビューを通して、受け入れ先で、活動する子ども達の成長を見守ってくれているって素敵だな。子ども達にとって、学校と家以外に自分の居場所があるって素敵だな。受け入れ先とボランティア…これからもよい関係が続いていいたら素敵だな。等、いくつかの「素敵」を感じることが出来ました。

子ども達の心に芽生えた「ボランティアの種」。芽をだし、成長していく過程を見守り、支え、背中を押せる。そんな地域、菊川市でありたいですね。



宮城咲希さん(小5) 稲垣清子さん

笑顔、輝いています —第15回—

● ～地域の皆さんとのふれあいが何よりの活力です～ ●

Q. どのようなボランティア活動をされていますか？

A. 放課後児童クラブへ月1回お邪魔して、折り紙を教えています。パタパタ(鳥)は羽根が上下に動くので子ども達に人気があるので列をつかって待っています。6年生が覚えたなら下級生に教える事もあります。折り紙は自分の趣味を活かしてやっているの楽しいです。

また、サロンへは6～7年行っています。荷紐で籠や金魚等を教えながら一緒に作っています。以前、奥さんが荷紐で作った籠をもらって来たのを見て、自分で解いて作り方を自分なりに考えて作りました。高山市へ旅行に行った時には、朝市で和紙を使った綺麗な傘を見つけました。折り方に興味があったのですぐ購入し、そして分解しながら、始めは広告を正方形に切って折って作り、慣れてきたら折り紙でやってみて、それから和紙で折ってみました。傘の柄も竹串で工夫して作ってみると傘が開いたり閉じたり出来るようになって大変嬉しかったです。

皆さんに自分で作った傘を差し上げて喜ぶ顔を見るのも楽しみです。

Q. ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

A. くすりん祭りへ自分で作った作品を出したところ、趣味のある方たちが覚えたいからぜひ教えてほしいと言う人が多く来ました。

子ども達へも広告を使い、遊べるものを作ってあげるととても喜び、「僕にも作って!」「教えて!」と来たので、他の子どもにも教えてあげようと思いました。

放課後児童クラブや保育園、幼稚園に行って一緒に折ったり、教えたりすることで子ども達が大変喜んでくれたり、自分も楽しむことが出来たのが始まりです。雨が降った日は畑にも行けなくて家でやることがないので、はじめは自分から電話をかけて突然行くこともありました。迷惑だったと思うけれど皆さんが快く迎えてくれたので嬉しかったですよ。

祭典の時アルミ缶がたくさん出て、これで何かできないか考えて、灰皿を作ってみました。これが皆さんから好評でした。身近にあるもので何か出来ないかと常に探しています。

Q. 活動していて思う事、感じる事はありますか？

A. 放課後児童クラブの子ども達とも顔見知りになり、道で会ったりすると声をかけてくれたり挨拶してくれるので嬉しいですね。

サロンでもおしゃべりや笑い声がたくさんあって私自身も趣味を活かしながらやらせていただいて、顔見知りの方がたくさん増えて毎日元気をもらっています。

Q. これからの活動予定や抱負をお聞かせください。

A. 今まで通りこれからも健康に気をつけて、放課後児童クラブやサロンにも続けて行きたいと思います。教えたりするのも好きだから全然苦になりませんね。他の所で頼まれれば喜んで行きますよ。

インタビューをする中で、荷紐で金魚や広告でパタパタ(鳥)等を次から次へと作りながら話していただきました。

今は毎週日曜日の新聞に掲載されるクロスワードやパズルがあるので、それを解くのが楽しみで大好きだそうです。

ご近所60軒位の電話番号は全て暗記しているそうですよ。

毎日何か作るものはないかと探しているそうです。赤堀さんの手は何でも作ってしまう魔法の手ですね。頭と指先を使っています。ますます元気いっぱい赤堀さんです。

声を掛けていただければ教えに来てくれるそうですよ。皆さんいかがですか？



赤堀三千男さん(川西)

特定非営利活動法人 生活支援施設 かすみ草

当施設は、菊川市加茂(白岩東地区)に設立して約6年になります。

【運営方針】

- ・家庭的な雰囲気の中で過ごすことで、子どもの心に落ち着きを持たせる。
- ・子どもがお年寄りに対する優しさの体験を通して、愛情あふれる人に育つことを期待する。
- ・カウンセリング(傾聴)手法を活用して、保護者の思いを把握し、協力して子どもを育てていく。
- ・チームワークよく職員が連携し、子どもの精神的な安定を図る。

【事業】

- ※乳幼児保育：四季折々の行事を行いながら保育をしています。
- ※学童保育：登所後、宿題を済ませた後はパソコン、ピアノ、トランプ等で自由に過ごします。
- ※カウンセリング：自分の話を聞いてもらう事で問題解決の糸口になればと思っています。
- ※学力支援(学習塾)：学童保育中に学習塾に行けるようにと考え、開始しました。現在はかすみ草以外の子どもさんも来ています。

勤労体験学習の中学生6名を受入れました。

活動は、乳幼児保育、学童保育、学力支援の3グループに分けて行い、事前に、心構えとして次のことを説明しました。

- ①“これ大丈夫かな”“どうしたらいいのかな”と思ったときは、まず指導の先生に相談すること。
- ②乳幼児、小学生はお客様であり、1個人として接すること。
- ③障がいがあっても、なくても 平等に接すること。
- ④常に相手の身になって、発言、行動すること

3日間、生徒は着替えの手伝い、小学生との公園での活動、テストの丸付け等をやってくれました。生徒は、小学生への声掛けや教えることが難しかったようですが、各自工夫し、うまくできた時の喜びとその感想を最後に伝えてくれました。

かすみ草の子ども達は、頼りがいのある中学生に接し、充実した日々を過ごしました。かすみ草全体もこの3日間は特に活気がありました。中学生の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

施設長 高塚和彦



▲幼児と粘土細工



▲小学生とプール遊び



▲小学生向きジグソーパズル作製

ご寄付ありがとうございました(4月~8月)

心温まる浄財は、社会福祉事業に有効活用させていただきます。

浄財寄付 初心 様

(株)ブライトネス 様

(株)エンチョー ジャンボエンチョー菊川店 様(工作大会参加者から)

「東日本大震災義援金」をありがとうございました(4月~10月)

内田小学校PTA運営委員会 様

みなみやまこいのぼりコンサート 様

第5回ふるさと夏まつりおがさ実行委員会 様

オーロラ会 様

東平尾・西平尾・平尾3自治会懇談会が開催されました

内田地区地域サポーター(徳々サロン)の主催で、祭典などを通して日頃からのお付き合い、つながりが強い3自治会で、地域づくりや住民間の支え合いの大切さや必要性をあらためて理解・認識し、互いに支え合い高め合いながら、より良い地域づくりを進めていこうと、地域福祉アドバイザーの平田厚氏を講師にお招きし、開催されました。参加者は問題を持った高齢者世帯の事例を基にグループ別に話し合い、意見を出し合いました。



東平尾・西平尾・平尾懇談会

「菊川市をきれいにしよう作戦part1」が開催されました



演奏や話を聞く参加者

ボランティア体験活動に参加した児童生徒の活動の振り返りと、今後の活動へのつながりを目的に、教育委員会ボランティア活動支援センターと社会福祉協議会ボランティアセンターの共催で行いました。

第一部では、活動写真による活動の紹介と振り返り、受け入れ先代表によるバンド演奏(施設利用者と職員で結成)やメッセージ発信。第二部では当初予定されていた地域貢献活動(菊川駅前花壇草取り)は雨のため中止となりましたが、室内で出来るボランティア体験やボランティア活動に関するQ&Aを行い、今後の活動へのつながりとなりました。

ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つのわ)



「スリーハートクラブ」

スリーハートは名前の通り3つの心で、「地域」と「人」と「自分」。「派手ではなく地道に長く続けていこう!」と現在約30名の男性ばかりの会員で、西方地区を拠点に活動しています。具体的には、地区や東遠学園のイベントへの参加協力、地区内の不法投棄ゴミの回収(回収から仕分け、収集場への持ち込み)、堀之内小学校5年生と行う「田植えから稲刈り」体験事業への協力、「男の料理教室」の開催など、年間計画のもとに活動しています。「一時的に派手なことをやって終わってしまうよりも、長くやっていきたい。」これからも西方地区に根付いた活動でありたいと思います。

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

「ボランティアグループから～子育てサポーターぽれぽれ～」

ぽれぽれサロンの御案内

ママになったばかりとか引越してきたばかりで「病院は?公園は?幼稚園は?情報が欲しい!」「日中子どもと二人きりで、怒ってばかり。」「大変なことも多くてストレスがたまる一方。」そんな方はぽれぽれサロンへ。

日時 毎週月曜日 10時から12時 フリーサロン(月に一回読み見かせ)

月1回 ママサロンおもちゃ箱:リトミックやスクラップブックのあとみんなでおしゃべり

月1回 ぽれぽれ食育講座 なつきDeLiのお料理教室

毎月第4金曜日 10時から12時 ※ボランティア託児あり

ちょっと習って見たかったこと「体験講座」

会場 ママズシェアショップそらまめ 詳細は blog. <http://shareshop.hamazo.tv/>

問合せ 子育てサポーターぽれぽれ(代表倉部) ☎0537-35-2781

toratora@sepia.ocn.ne.jp blog. <http://kikugawapolepole.hamazo.tv/>

あなたのまちの福祉のお仕事魅力発見講座&福祉就職相談会

日時 平成24年11月4日(日) 13:00～

場所 掛川市総合福祉センター

内容 ①福祉のお仕事魅力発見講座 ②福祉就職相談会

時間 ①13:00～14:30 ②13:00～15:30

問合せ 静岡県社会福祉協議会静岡県社会福祉人材センター

☎054-271-2110 FAX054-272-8831



求むボランティアさん

問合せ先

ボランティアセンター ☎35-6385

活動内容 小さなお子さんの託児
子育てサロンやお母さんのリフレッシュ
講座などの運営

活動日時 不定期(相談可能)

募集対象 一般

※基本的には、ボランティアグループの活動に参加します。

活動内容 障がいをお持ちの子どもさんの遊び相手、
保育

活動日時 不定期(相談可能)

募集対象 一般

※基本的には、ボランティアグループの活動に参加します。

ご利用ください～菊川市社会福祉協議会ボランティアセンター土日開所～

11月のボランティアセンター土日開所日は、10日(土)、18日(日)です。

ボランティア相談 月～金曜日 8:15～17:00 プラザけやき ☎35-6385

参加者募集 各種事業



赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします

共同募金運動は10月から12月、歳末たすけあい運動は12月に全国一斉に実施されます。誰もが気軽に「たすけあい」活動に参加できる募金運動です。みなさまのご協力をお願いいたします。

歳末たすけあい募金配分金事業の御案内

目的 歳末たすけあい運動の理念に基づき、新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるようにすることを目的とします。

対象者 菊川市に居住し、世帯全員が住民税非課税世帯で、次のいずれかの要件に該当する方。

- 1 満18歳未満の子どものいる世帯で、児童扶養手当の全額受給世帯
- 2 次の手帳を取得している障がい児・者のいる世帯（在宅に限る）
 - (1) 身体障害者手帳1級または2級
 - (2) 療育手帳AまたはB
 - (3) 精神障害者保健手帳1級または2級
- 3 要介護4または要介護5の要介護認定者を自宅で介護している世帯
- 4 満65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯で、経済的支援を必要とする世帯
- 5 著しく生活にお困りの世帯（生活保護世帯を除く）

申請書配布場所

- 1 プラザけやき 社会福祉協議会窓口
- 2 市役所小笠支所1階

上記対象者にあてはまり、事業に申請したい方は上記配布場所に置いてある『歳末たすけあい募金配分金利用申請書』に必要事項を記入し、下記のいずれかにおいて申請して下さい。

- 提出方法**
- 1 社会福祉協議会窓口へ提出
 - 2 民生委員・児童委員を通じて提出
 - 3 郵送にて提出

受付期間 10月15日(月)～11月13日(火)

問合せ 菊川市社会福祉協議会 地域福祉係 ☎35-3724

初めての介護体験 参加者募集!

会場 特別養護老人ホーム千寿の園(堀之内14939)

参加料 無料 **参加資格** 原則5日間参加出来る方

日時内容

- | | |
|-----------------------|---|
| 11月12日(月) 10:30～14:30 | ①デイサービス・特別養護老人ホームってこんなところ!
②介護保険はこうなってる |
| 11月19日(月) 10:30～14:30 | ①在宅と施設でのケアの違い
②おいしい介護食といろんな介護食
③「胃?(いろいろ)」って言葉聞いたことがありますか? |
| 11月26日(月) 10:30～14:30 | ①歳をとっても楽な姿勢で過ごす「こつ」～介護する側も安楽・簡単介護～
②介護のスキルを学ぼう |
| 12月 3日(月) 10:00～14:00 | ①笑いヨガ体験～ストレス発散して体も健康～
②いろんな介護用具を体験しよう(杖・車いす・電動ベッド等)
③介護の仕事あれこれ(職員の楽しさ・苦しさ等) |
| 12月10日(月) 10:30～14:30 | ①うちだデイサービスセンター見学
②グループホーム「愛の家」見学
③全体を通して聞きたいこと、話したいこと |



申込・問合せ先 特別養護老人ホーム千寿の園 ☎36-5690・菊川市役所長寿介護課 ☎37-1254

申込期限 10月31日(水)

相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8:15～17:00

会場 プラザけやき

心配ごと相談

日時 11月 1日(木) 9:00～12:00

11月15日(木) 13:00～16:00

会場 プラザけやき

日時 11月 5日(月) 13:00～16:00

11月20日(火) 9:00～12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 11月 1日(木) 18:00～21:00

(受付20:00まで) ※女性のための相談日

11月18日(日) 9:00～12:00

(受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談

日時 11月 5日(月) 13:00～16:00

11月19日(月) 13:00～16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233